

「相模原駅北口地区土地利用方針」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

相模原駅北口の米軍相模総合補給廠については、平成26年9月に一部返還が実現し、新たなまちづくりの取組を進めています。

この度、策定する相模原駅北口地区土地利用方針は、導入する機能や都市基盤等の方針について定めるものです。

これまで、令和2年5月に策定したまちづくりコンセプト「多様な交流が新たな価値をうみだす ライフ×イノベーション シティ」に基づき、市民や学識経験者による検討や、アンケート・オープンハウス等による市民の皆様との対話等を通して検討してきました。

この度、本方針の策定に当たり、市民の皆様からのご意見を募集しました。

その結果、65人の方から99件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

なお、いただいたご意見につきましては、本地区のまちづくりに生かしてまいります。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和4年3月15日（火）～令和4年4月15日（金）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

※ 資料の配架場所

相模原駅周辺まちづくり課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・本庁6地区地域・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、市立公文書館、

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		65人（99件）
内 訳	直接持参	8人（14件）
	郵送	1人（1件）
	ファクス	3人（4件）
	電子メール	54人（81件）

（2）意見に対する本市の考え方の区分

ア：計画案等に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目	件数	市の考え方の区分			
		ア	イ	ウ	エ
① 相模原駅北口地区土地利用方針（案）の全般について	3	－	－	2	1
② 「1 これまでの経緯等」について	1	－	－	－	1
③ 「2 本地区のまちづくりの前提」について	5	－	1	4	－
④ 「3-1 目指すまちの姿」について	3	－	2	1	－
⑤ 「3-2 導入機能」のうち居住生活機能について	8	－	2	6	－
⑥ 「3-2 導入機能」のうち商業機能について	9	－	1	8	－
⑦ 「3-2 導入機能」のうち業務開発共創機能について	7	－	－	7	－
⑧ 「3-2 導入機能」のうち交流にぎわい機能について	4 4	－	－	4 4	－
⑨ 「3-2 導入機能」のうち交流ハブ機能について	4	－	4	－	－
⑩ 「4 都市基盤等」について	2	－	－	2	－
⑪ 「5 脱炭素社会に向けた取組」について	4	－	2	2	－
⑫ 「6 今後の留意点」について	3	－	－	3	－
⑬ 「参考資料（市民アンケート）」について	1	－	－	－	1
⑭ その他のご意見について	5	－	－	－	5
合計	9 9	－	1 2	7 9	8

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
① 相模原駅北口地区土地利用方針（案）の全般について			
1	人口減少対策の具体的な解決策として、例えば、教育意識の高い子育て家庭等を流入促進のターゲット層とし、新たな研究・開発拠点や教育施設の誘致などを検討してはどうか。また、他地域との差別化のため、交流にぎわい機能や商業機能については、あえて盛り込まない決断をしても良いのではないか。	本地区は相模原駅周辺地区全体の今後の発展の起爆剤としての役割も期待されることから、他地域との差別化や、ターゲット層を想定することは重要であると認識しており、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。	ウ
2	国際的なまちづくりに向け、羽田、成田の両空港から京王線と京成電鉄、小田急線とJR線の相互乗り入れ、成田エクスプレスの横浜線への引き込み等既存の鉄道ネットワークを活用してはどうか。 また、商業施設や特定のエリアにおいて公用語を英語等に限定するなどの取組をしてはどうか。	鉄道ネットワーク化に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。 また、特定のエリアでの言語の限定化につきましては、まちづくりコンセプト等を総合的に勘案し、今後のまちづくりの参考といたします。	エ
3	近年の計画立案では民間活力が盛り込まれる傾向があるが、地域の利益を最優先とする地方公共団体としての市が先頭を切る姿勢を示すべきで、安易に民間活力を口にするようでは地域の発展など期待できない。	人口減少・高齢化の進展や、住民ニーズが多様化する中、民間事業者の経験や知識の活用及び連携は重要と考えております。本地区のまちづくりにあたりましても、本市の発展の起爆剤や税収確保の観点からも望ましい民間活力について検討してまいります。	ウ
② 「1 これまでの経緯等」について			
4	相模総合補給廠の全面返還は日米安保条約が破棄されない限りありえない。現在においても不安定な世界情勢であり危機感が生じている。	相模総合補給廠につきましては、早期返還に向け、国に対して要望を行っているところでございます。	エ

③ 「2 本地区のまちづくりの前提」について			
5	相模原スポーツ・レクリエーションパークは大震災や富士山噴火に備える防災重要拠点として流用できる仕組みが必要と考える。	相模原スポーツ・レクリエーションパークは地域防災拠点及び広域防災拠点として位置づけており、今後の土地利用計画において本地区と相模原スポーツ・レクリエーションパークの連携の可能性等について検討してまいります。	ウ
6	防災機能を併せ持つことにより、災害時はもちろん、平時から市民の防災意識を高めることに寄与するまちづくりが必要である。	大規模地震や気候変動の影響による自然災害への関心が高まっており、まちづくりにおいて防災機能を併せ持つことは重要であると認識しております。	ウ
7	防災機能を併せ持つ安全・安心に配慮したまちづくりが必要と考える。例えば、かまどベンチやマンホールトイレ、防災対応型複合遊具といった普段は通常使用可能な防災パークや、災害時に照明や空調・給水・携帯充電用コンセント利用可能な一時的に避難者を受け入れられる防災モール、災害対応型給水所等の備えが必要。	このことを踏まえ、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。	ウ
8	昼間人口と交流人口の拡大について、本来的には相模原駅周辺は「商業地域」「繁華街」であり、「交流拠点」であることが求められるべきで、市全体としても昼間人口の増加を担う地域であることから、市においても周辺住民に啓発を促すように求めたい。	本地区は相模原駅前で利便性が高く、駅周辺の発展の起爆剤としての役割が期待されていることから、昼間人口や交流人口の拡大等市の課題解消に資するまちづくりを進めてまいります。	イ
9	昼間人口と交流人口の拡大への課題としては、乳幼児連れや高齢者の外出時のトイレの問題がある。多機能トイレや男性でも利用しやすい赤ちゃんルーム、授乳室が多くあると良い。 また、健康と交流のためにストレッチ遊具や健康の道（足つぼ）、レンタサイクルも必要と考える。	子どもや高齢者等多様性に配慮したまちづくりを進めるため、今後の参考といたします。	ウ

④ 「3-1 目指すまちの姿」について			
1 0	<p>目指すまちの姿としては立地特性・時代性・将来性等適切な判断だと思われる。また、これらの「日常」が“みんながつながり”のキーワードで括られて、一体性が表現できていると思う。</p>	<p>まちづくりコンセプトや本方針における目指すまちの姿を踏まえ、今後のまちづくりを進めてまいります。</p>	イ
1 1	<p>開通が不透明なリニアを踏まえたまちづくりには賛同できない。リニアがなくても成り立つまちづくりを。繰り返し使われているにぎわいや、つながりを求めているのは誰なのか。都市部との違いや、静かで干渉されない居場所を求める人もいる。何もないことが魅力の一つと感じている市民がいることも忘れずに“ライフ”を重視したまちづくりをお願いしたい。</p>	<p>リニア中央新幹線や多摩地域との連携等を本地区の強みとするとともに、市民ニーズ等を踏まえ、令和2年5月にまちづくりコンセプトを策定し、土地利用方針を検討してきました。今後の土地利用計画の策定にあたりましても、これまでの経過を踏まえつつ、検討してまいります。</p>	ウ
1 2	<p>共にささえあい 生きる社会を掲げる市として誰一人取り残さない相模原駅北口を目指し、時代とともに進化する究極のユニバーサルタウンを何十年にも渡って追求し続ける。</p> <p>施設の運営管理や植栽維持等は市民ボランティアか、常勤の仕事に就きにくい人の挑戦の場とする。</p> <p>また、最新技術を活用し、無人店舗は障害者にとっても使いやすく、働ける場とするとともに、世界へ発信できるような共生社会をテーマとした実証実験やセミナー等を行い、世界に誇れる共生都市としてシビックプライドにもつながる。子ども、高齢者、障害者等誰もが安心して訪ね、過ごせる街とし、分け隔てなく交流し、にぎわい、SDGsや共生社会をテーマにしたイベントを親しみやすい内容で継続的に行う。</p> <p>お金は立派な建物ではなくイベントに使う。</p>	<p>本地区のまちづくりにおいては、将来の社会を見据え、SDGsの推進や誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていくことを前提としております。また、“つながり”をキーワードにまちづくりを進めていくこととしており、今後の土地利用計画において検討してまいります。</p>	イ

⑤ 「3-2 導入機能」のうち居住生活機能について			
1 3	<p>相模原駅周辺では相模原中央病院と厚生病院があるが、他の地区と比べると、設備・各科が少ないため、大きな病院を作ってほしい。</p>	<p>市内の医療提供体制については、市医師会や市病院協会、市内大学病院等の医療関係団体との連携のもと、充実に努めてきたところがございます。今後につきまして、市内の医療ニーズの状況把握に努め、医療提供体制の確保に取り組んでまいります。</p>	ウ
1 4	<p>トヨタ(株)は静岡県で未来型実験都市を整備予定であるが、同様に県内に由来がある日産(株)に協力依頼し、まちづくりを進める。</p> <p>人口増加率が全国3位である千葉県流山市の保育園の増加や駅前送迎保育ステーションの設置等成功例を参考とし、子育て世代にやさしい環境整備して、人口獲得に繋げる。</p>	<p>本地区では、まちづくりコンセプトを踏まえ、新技術の展開発信や子育てしやすいまちを目指したいと考えており、今後の土地利用計画の策定に向け、他都市のまちづくりの事例も参考にしながら検討してまいります。</p>	ウ
1 5	<p>新型コロナウイルスの外出自粛等で高齢者の身体機能の低下が著明であるため、屋外で適度な運動ができるような公園があると望ましい。</p> <p>筋力トレーニングやストレッチ、バランスの要素がある器具を複数設置し、友人やグループでの活動につなげてはどうか。器具の選定は理学療法士や保健師からのアドバイスでよいものになる。</p>	<p>高齢者をはじめ、誰もが健康に過ごせるまちづくりを進めるため、今後の参考といたします。</p>	ウ
1 6	<p>最先端過ぎる生活様式は高齢者には馴染まないものだと思う。それより最先端な生活が体感できるモデルルームやホテルの方が良いと思う。</p>	<p>カメラやセンサー、IoT等の技術を活用して安全・安心を確保するとともに、買い物やサービスの利用時においても、高齢者を含め誰もが</p>	ウ
1 7	<p>新しいテクノロジーを取り入れようとしているのは理解できるが、高齢者等がサービスを利用できるかが疑問であり、分かりやすい仕組みが必要と考える。</p>	<p>日常生活において先端技術の恩恵を享受できるよう、今後のまちづくりにおいて具体化に向けて検討してまいります。</p>	ウ

18	<p>相模原駅北口発展のために多機能型子育て支援施設が必要と思う。母子共に気軽に遊びに行け、相談でき、保育園幼稚園への送迎バスを出してくれる場所など実用的な使い方ができる施設は自然と人を呼び、活気につながる。</p>	<p>本地区のまちづくりは、市の課題解消に資するまちづくりを進めるものとしており、子どもを安心して生み育てられる環境の整備にも取り組んでまいります。</p> <p>このことを踏まえ、今後の土地利用計画の策定において具体化の検討をしていきます。</p>	イ
19	<p>将来を見据えたまちづくりとは、民間企業の大規模施設や高額家賃の住居ではない。</p> <p>交通手段が限られる高齢者や障害者等に向けた3階建て程度の公営住宅を配置し、階段でも行き来でき、エネルギーを消費しない仕様とすることが考えられる。必要な面積は約2ヘクタール。</p>	<p>少子化対策や定住促進、利便性の向上に向け、土地利用方針（案）において居住生活機能を位置づけており、まちの活力や多世代の交流等具体化に向け、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ
20	<p>相模原駅周辺は病院が少ないため、クリニックモールがあれば良い。入口から感染疑いと非感染を隔てるなどニューノーマルに対応したものであるとよい。</p> <p>また、子育て支援が弱いと感じるため、新潟県上越市のこどもセンターや埼玉県ふじみ野市の子育て広場の良いところを取り入れ、安心・安全、子育てで孤独にならない子育てしやすいまちとし、大人になったときに地元で出産・子育てしたいと思えるような良い循環となればよい。</p> <p>車に乗らない方や怪我、子育てで移動手段が限られる方の円滑な移動に向け、バスコースを増やすことや、サポートタクシーの導入はどうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を踏まえたニューノーマルへの対応や、子育て支援、ユニバーサルな移動等の実現に向け、今後の土地利用計画の策定において具体化の検討をしてまいります。</p>	イ

⑥ 「3-2 導入機能」のうち商業機能について			
2 1	相模原は昔から田舎じみたイメージであり、昔の藤沢市辻堂に似ていると感じる。辻堂は関東特殊鋼工場跡地に大規模モールを設置して、県内外から多くの人を訪れ活気に満ちている。当地区は大規模商業施設を造るには最適と考える。相模大野から伊勢丹がなくなり、大規模商業施設に対する要求は強くなっている。	本地区では、にぎわいや交流の創出を目指すこととしており、今後の土地利用計画の策定に向け、他都市のまちづくりの事例も参考にしながら検討してまいります。	ウ
2 2	目指すまちの姿のとおりにしたいので、野球場につながる広い道路(車は入れない)を2本程度つなげ、両脇には市内で取れた野菜産直売所や八百屋、魚屋等小さい商店街を配置する。人とのつながりとにぎわい、持続可能な消費社会を再構築する。必要となる面積は約2ヘクタール。	まちづくりコンセプトや商業機能に対する市民アンケート結果等を踏まえ、商業機能の具体化に向けて、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。	ウ
2 3	キャンプ場やパスタ、ハム、天然水、ダム等相模原市の誇れるものを生かし、例えば、アウトドアメーカーを集結させ聖地化し、他の大規模商業施設との圧倒的な差別化を図る。 また、友好都市(トロント市等)や国内友好都市(銀河連邦共和国)の地場製品の販売等人々が飽きない商業施設にする。		ウ
2 4	ショッピングモール等大規模商業施設は利便性が高い一方、画一的でもあるので、横丁のような敢えて雑多なエリアも整備してはどうか。小さい個性的なお店が並ぶ路地は、周辺で生活する人はもちろん、遠方や海外の人を訪れたい魅力になると思う。横丁は防火・防犯等の安全性を高めたものとしてほしい。		ウ

25	<p>ここでしかできない魅力とは何か、市の特徴が市民に周知されているか、AR、VRショッピングは求められているものか、年齢を問わず簡単にできるのかが疑問である。</p>		ウ
26	<p>最先端マシンのスポーツジム、スポーツブランドのアウトレット、ダイエット食・筋肉飯のレストラン等日本一健康になれる全天候型スポーツパーク。</p> <p>体を使って遊べるテーマパーク、VRを使ったアトラクション、宇宙に関連したアトラクション、平日の昼間は学校の授業で使用できるようにしてオリンピックのようなハイテク技術を体験できる子供向けテーマパーク。</p>		ウ
27	<p>本市は都心近郊でありながら、豊かな自然(山/湖/川)があるが活用できていないため、キャンプエリアと市街地を繋ぐアウトドアに特化したモール、体験施設、共同使用区域を活用した都市型グランピング施設などを展開してはどうか。また、キャンプエリアへの直通バス、購入物の直接配送、温泉施設、特産物販売、朝市等も考えられる。</p>		ウ
28	<p>交流を促すため日本一といえるものが必要と考える。例えば、日本一のアウトレットやテーマパーク、世界一長い動く歩道を橋本駅から繋げてはどうか。</p> <p>また、「相模原」の名のついた百貨店などが入った駅ビルは働く若い方々を呼び込むことができる。</p>	<p>本地区は本市の顔となる特徴となり、シビックプライドの向上に資することが求められていることを踏まえ、商業機能をはじめとする導入機能の具体化に向け、土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ

29	<p>すぐ側のスポレクパークで買った商品を食べられたら気持ちいいと思う。環境を意識し、マイボトルが使えたり、リユース食器で食事を提供する店舗ができれば良い。飲食物や商品の材料を発生から廃棄がスマホで見られたら環境意識が高まると思う。</p>	<p>SDGsの推進や脱炭素型のまちづくりなど持続可能性を踏まえ、今後、相模原スポーツ・レクリエーションパークと連携したまちづくりを進めてまいります。</p>	イ
⑦ 「3-2 導入機能」のうち業務開発共創機能について			
30	<p>JAXAを核とした宇宙関連企業や大学を誘致。</p>	<p>まちづくりコンセプトや民間企業アンケート結果等を踏まえ、業務開発共創機能の具体化に向けて、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ
31	<p>働く女性が活躍できる場所として駅に直結した保育施設が必要。</p> <p>また、昼間人口の増加に向け、民間のワーキングスペース、シェアオフィスを誘致し、それには保育施設併設であればなお良いと思う。</p> <p>さらに、起業家が入居（登記）できるようなシェアオフィス&インキュベーションを整備してはどうか。</p> <p>AIをはじめとした最先端技術を扱う優秀な起業家が集まる場所とするとともに、インキュベーション機能を備える。リニアができれば品川まで一本で、利便性も生かせる場所であるため産業支援交流施設があれば良いのではないかと。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を踏まえたニューノーマルへの対応やSDGsの推進の観点等を踏まえながら、持続可能なまちづくりを進めていく必要があると認識しております。このことから、まちづくりコンセプトや民間企業アンケート結果等を踏まえ、業務開発共創機能の具体化に向けて、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ

3 2	<p>業務開発共創機能の充実発展には人材育成が欠かせない。育成機関では大学の枠を超えて先端技術専門学部生を受け入れる研究・修学施設を市が建設し、維持管理することにより市政のスタンスが視認できる。</p> <p>高等先端技術の習熟には高校・中学校からの基礎学習が必要であるため、家族単位の居住地として光が丘、弥栄、松ヶ丘等 J A X A 周辺の未利用地を活用する。</p> <p>返還地のみに視点を限定せず、まちづくりのロードマップを見据えて、土地利用を決定して欲しい。</p>	<p>本地区は、将来の社会を見据えるとともに、本市の課題解決に資するまちづくりを進めることとしています。</p> <p>まちづくりコンセプトや市民アンケート等のニーズを踏まえ、業務開発共創機能の具体化に向け、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ
3 3	<p>人口減少の中、消費する場所ではなく生み出す場所が必要と考える。</p> <p>まちづくりの核として国際的教育機関で多様な人材の育成や企業との連携による社会実験ができる場としてイノベーションが生まれる場にするべき。</p>	<p>人材育成や社会実験、イノベーションの創出等の具体化に向け、まちづくりコンセプトや市民アンケート等のニーズを踏まえ、業務開発共創機能の具体化に向け、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ
3 4	<p>多様性の社会における「成長」「発展」について市独自の定義を内外へ宣言してほしい。</p> <p>また、イノベティブなまちづくりに向け、国際的なイノベーションコミュニティセンター、フューチャーセンター、専門教育機関の設置や、企業の特許、知的財産を集約・オープンデータ化するほか、特区による税制特例で起業家の引き込みを促進する。</p> <p>さらに、大学等と連携し、商店街の空き店舗対策と起業家育成を兼ねたチャレンジショップやオフィス制度を創設するほか、弁護士、税理士、企業診断士、地元経営者等によるサポート体制を整備する。</p>	<p>まちづくりにおいて多様な交流が新たな価値をうみだしていくことが、「成長」や「発展」につながるものと考えており、そのような取組や活動が行われる環境づくりやまちの運営方法について、引き続き検討してまいります。</p> <p>また、イノベティブなまちの実現には研究機関や大学との連携のほか、専門技術の習得や専門家との交流等が必要と認識しており、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ

35	国際的な教育機関や、研究施設、社会実験施設等多種多様な人が交流できる拠点となるようなまちづくりを進めて欲しい。	イノベーティブなまちの実現には研究機関や大学との連携のほか、専門技術の習得や専門家との交流等が必要と認識しており、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。	ウ
36	相模原駅周辺にイノベーション起こすため国際的教育機関等多様な人材育成や企業を呼び寄せるようなハブ機能を具体的に盛り込むべきと考える。		ウ
⑧ 「3-2 導入機能」のうち交流にぎわい機能について			
37	地域活性化によるプロスポーツ施設と商業施設融合の実現のために、新スタジアムが必要と考える。	交流にぎわい機能においてスタジアムをはじめ、ホール、会議室、アリーナ等を導入施設例としております。今後、まちづくりコンセプトや他の導入機能との相互関係等を勘案しながら、土地利用計画の検討において参考といたします。	ウ
38	複合スタジアム案に賛同する。ホームタウンチームが4つもあり、市民として盛り上げたい。リニア中央新幹線が開通すればアウェイチームのファンの往来により経済効果もある。駅からアクセスが良いため、他都市をお手本にまちづくりをして欲しい。また将来的には県内学生スポーツの聖地を目指して欲しい。		ウ
39	市内には4つのトップレベルのスポーツチームがあることから、スタジアム建設を希望。 <ul style="list-style-type: none"> ・球技専用 ・サッカーJ1及びラグビーリーグワンの基準を満たしつつ、過大にならない収容人数15,000~20,000人程度 ・ラグビーの際、十分なインゴール幅を確保(縦144m)。 ・スポーツ以外のイベント誘致のためハイブリッド芝を検討。 ・演劇・コンサート用ホールについては、需要を踏まえて慎重に検討。相模女子大学グリーンホールは利便性や稼働率高いため、新設するのであれば、老朽化が進み、距離が近い市民会館の廃止を検討。 		ウ

40	<p>シビックプライドの向上には全国に誇れるスポーツチームの存在が重要である。プロスポーツチームが4団体もあるのは全国でも珍しいが、知名度は低く、トップレベルにない。各チームの強化には観客動員数を増やして収益を上げることが必要であるが、ギオンスタジアムはアクセスの問題で実現していないため、相模原駅北口に複合スタジアムが新設されれば観客が大幅増となることは容易に想像できる。</p> <p>交流にぎわい機能の実現には市内外から多くの人を訪れることが不可欠であるが、試合では地元チームだけでなく、対戦チームの観客が多数訪れる。特にサッカーは顕著であり、カテゴリー上位であるほど観客数が多い。</p> <p>ギオンスタジアムはJ2参加ライセンスを満たしておらず、昨年度は特例でJ2に参加した。ライセンス条件を満たす複合スタジアムの新設が必要である。</p>		ウ
41	<p>本市は住みやすく、自然豊かで立地も恵まれているが、子どもたちの郷土に対する興味関心が低く残念である。市の顔が必要なのではないか。</p> <p>相模原駅北口において4つのホームタウンチームの新スタジアム構想は市の顔となりうる。特に、SC相模原のスポンサー企業は県内の子ども全員に帽子のプレゼント等の取組で多くの観客を呼び込んでいる。</p> <p>相模原駅北口から徒歩0分の場所に新スタジアムを建設することで、県内外から多くの客を呼び込み、それが市のイメージUPにもつながり、子どもたちの郷土に対する誇りも高まるのではないか。</p>		ウ

4 2	<p>多機能複合型スタジアム（サッカー専用スタジアム）が必要と考える。</p> <p>スタジアムを中心にスポーツ施設、ショッピングモール、飲食店を設置し、平日も市内外から集客する交流施設となる。ホームチームは市民のロイヤリティを高める効果あり、ホームゲーム開催時にはアウェイチームサポーターへ市の魅力発信の場になる。</p> <p>駅からのアクセスが良い場所にあるサッカー専用スタジアムは全国的に希少であり、市の魅力向上や他との差別化につながる。</p>		ウ
4 3	<p>市や日本を支えていく18歳。市の魅力を上げるべきと考えており、そのためにはスポーツチームを活用すべきである。スポーツで市の知名度を上げ、明るいイメージとなり、興味を持つ若者や家族を増やせると思う。複合型スタジアム案も重要と考える。</p>		ウ
4 4	<p>新スタジアムを建設してほしい。サッカー観戦の交通が便利になる。</p> <p>また、相模原のこれからの発展のために必要で、スポーツだけでなく周りの商業施設も充実して発展してほしい。</p>		ウ
4 5	<p>相模原駅北口地区の発展には多機能複合型スタジアムが必要と考える。</p> <p>市には4つのホームタウンチームがあるが、さらなる発展とフットボールによる経済効果の拡大は、街を元気にし、魅力的になると思う。</p> <p>70万都市のシンボルとなるスタジアムを創り、市を未来に向けて発展させましょう。</p>		ウ

4 6	政令市だがスタジアムがない。ショッピングレストランを併設すれば相模原駅に人出が多くなり、雇用にも繋がる。経済効果が大きいプロスポーツやコンサートが楽しみ。		ウ
4 7	商業施設ばかりではなく、公園やスタジアムを願う。特にスタジアムを。ギオンスタジアムはアクセスが悪く、トラックがありピッチまで遠い。新スタジアムの利点は4チームで80日/年は稼働すること。		ウ
4 8	<p>ホームタウンチームの試合をするスタジアムが相模原駅北口に必要と考える。駅の近くという好立地で国内トップレベルの試合が出来れば、市内外から多くの集客が見込め、駅前の活性化が期待できる。スタジアムを商業施設やコンサート、イベント等が開催出来る複合型とすることで試合が無い日でも収益が見込め、雇用創出にもなる。</p> <p>駅前のスタジアムをシンボルとした魅力的な街づくり推進し、防災拠点としても機能すると思う。</p>		ウ
4 9	多機能複合型スタジアムをお願いしたい。駅直近という立地を生かし市民や他県から色々な世代が集まるシンボル施設となる。4つのフットボール(サッカー・ラグビー・アメフト)チームがあるのも魅力の1つで、チームを街で応援する事でシビックプライドの入口になる。そのチームが発展して行けば街の賑わいや経済効果などもあり、防災機能を兼ねられるのもスタジアムの魅力である。		ウ

5 0	<p>ヨーロッパを手本にした複合型スタジアムを核とした幅広い年代が集まる、にぎわい・活気のある市のランドマークを相模原駅直結の場所に。その効果は従来の箱形施設と異なり、時間・体験型消費と合うベストな計画になると信じます。将来を担う子供たちに夢や希望を持たせ、シビックプライドを醸成する空間にもなる。</p> <p>長崎や広島での計画や国の方針と合致し、他地域から人が訪れ、交流し、経済的にも好循環が生まれる。</p> <p>従来の発想にとらわれれば、人口が減る中で魅力がなくなってしまう。選ばれる都市を目指すなら主に橋本・相模原駅のエリア一带と相模大野駅周辺のエリアをビジョンのある開発で魅力を増し、定住人口を増やす（減らさない）施策がベターだと思う。</p> <p>少子高齢化が進む中で、駅から遠い立地が寂れ、駅から近いエリアに集積する傾向は止められないと思う。市の財政を考え、行政から土地を貸与し、施設運営は民活で様々な問題をクリアして欲しい。</p>		ウ
5 1	<p>市の発展のため、スタジアムが必要。スポーツは全国からサポーターが来て、観光、買い物をする。周辺は遊ぶ場所もなく都心などに出ないといけない。</p> <p>また、震災時も避難場所にもなる。</p>		ウ

5 2	<p>複合スタジアム（サッカー）の建設を支持する。サッカーは世界で最も人気のあるスポーツで、各地でサッカークラブを通じた町興しは枚挙にいとまがない。</p> <p>建設費用は、ふるさと納税制度（返礼なし）で市民等から寄付を募るのはどうか。市民の負担は少なく、市税も抑えながら、政策が実現するという理想の市民参加型の政策決定となる。市民も自らの意思で建設したことで、施設とチームに愛着を持ち、ひいてはシビックプライドの醸成につながる。</p>		ウ
5 3	<p>内外からの圧倒的な集客力のあるスタジアムシティを整備し、消費を促し、税収増加に繋げる。</p> <p>S C相模原を含め5つのプロスポーツが週末に試合をし、年間で数十万人を集客する。駅直結であることや、リニア新幹線駅の整備でさらに可能性が広がる。</p> <p>また、コロナ禍であるからこそチャンスと捉えて、今までにないスタジアムシティを内外に発信する。</p> <p>さらに、周囲に商業施設・ホテル・コンベンションセンター・アリーナ・会議室等を併設し、平日は商業及び企業活動を可能とするとともに、感染症対策を高度に施した最新の施設とし、災害時には救命施設及び簡易宿泊施設等にも活用する。</p> <p>また、スポンサー企業等と協力し、最先端の技術を活用する。</p> <p>単なる箱物ではなく象徴的なものが必要である。10万人もの署名や土地利用方針資料のアンケートで多くの人がスポーツ施設を望んでいる。</p>		ウ

5 4	<p>市内には5つのホームタウンチームがあり、ファン・サポーターは市外からも多く訪れている。遠征では観戦のほかに観光もする。アクセスの良いこの地にスタジアムができイノベーションが感じられる施設になればと思う。スポレクパークという魅力的な施設があるので相乗効果がある施設を望む。</p>		ウ
5 5	<p>駅周辺が寂れてきており、フットボール専用の多機能複合型スタジアムが必要である。リニア駅の隣の駅前にスタジアムを建設し、市にある4つのプロチームが使うほか、ライブ等のイベントにより市民はもとより県内外からも集客が見込め、地域が活性化し、認知度も向上する。</p> <p>また、球技専用とすればギオンスタジアムを常に陸上競技で利用できる。</p>		ウ
5 6	<p>長引くコロナ禍で人との繋がりが希薄になってしまったが、逆に人と繋がれる場所として多機能で複合型のスタジアムが必要だと思う。</p> <p>4フットボールチームはもちろん、音楽やアートの力で人やお金が集まるスタジアムを建設してほしい。</p>		ウ
5 7	<p>相模原駅は市の中心で駅前に集客を見込める唯一無二の場所である。</p> <p>ここに中途半端でなく、全国に誇れるスポーツ施設を作り、将来リニアや小田急多摩線の延伸によって集客し、安定的に運営すれば、税収、雇用、人の動きを予見できる。緊急避難所も指定し、安心安全を確保し、シビックプライドにも繋がる。</p> <p>ホームタウンチームがフットボールチームであることを踏まえ、スタジアムの実現を願う。</p> <p>税金ではなく、民間企業をフル活用し、人が集まるシンボルとすべき。</p>		ウ

58	<p>球技専用スタジアムの建設を提案する。市をホームタウンとするスポーツチームが4つあり、ギオンスタジアムと併用すれば、芝養生のメリットがある。交通の便が良い駅前にスタジアムを造る事で、アウェイチームのファンも来やすくなり、経済効果も見込める。特に、三菱重工相模原ダイナボアーズがジャパンラグビーリーグワン1部に昇格すれば世界トップレベルの選手を子供たちも身近で見られる。</p> <p>また、直近のスポーツ・レクリエーションパークでラグビーやサッカー教室を行い、子供達がスポーツに親しむことができる。</p>		ウ
59	<p>相模原駅北口にスタジアムを今つくらないと市のスポーツ文化の明日はない！</p> <p>①市をホームタウンチームとする球技団体は4つあるが、ホームグラウンドの相模原ギオンスタジアムは自動車・電車ともにアクセスに課題があり、観客動員に影響している。これが、チーム経営にも影響していることから、相模原駅北口にスタジアムをつくることは必須である。</p> <p>②スタジアムが市のランドマークとなり、駅から最短として取り上げられれば知名度が上がる。</p> <p>③スタジアム建設に関する署名が10万人を超えたことは市民もそれを希望している証拠である。</p> <p>④一昨年S C相模原は条件つきでJ2に昇格したが、機構側の条件を踏まえると、球技専用スタジアムの建設を市に期待していることが窺え、裏切るわけにはいかない。</p> <p>⑤S C相模原は海老名市、座間市、愛川町もホームタウンとしている</p>		ウ

	<p>ためスタジアム建設を望んでいる。</p> <p>⑥スタジアム建設後の効果</p> <p>A.入場者の増加でクラブ経営が改善し、J 1 昇格でメディア登場回数が増え、スポーツ好きの若い人が住んでみようと思うのでは。</p> <p>B.人の移動により、交通事業者の売り上げが伸び、駅周辺の飲食店街の客足や、働く場所が増え、税収アップが期待出来る。</p> <p>トラックやサブグラウンドは不要。</p>	
6 0	<p>相模原駅北口の発展には多機能複合型スタジアムが必要と考える。</p> <p>市のホームタウンチームのスポーツ振興や先日の中谷潤人選手の防衛戦で盛り上がるような、市のシンボルとなる多機能複合型スタジアムを計画・実現してほしい。</p>	ウ
6 1	<p>相模原駅北口に多機能複合型スタジアムが必要と考える。ホームタウンチームの発展、ひいては市の発展にも繋がる。スタジアムはスポーツ興行のみならず、周辺のショッピングや飲食店への好影響、また、災害時の大規模避難場所等にも応用でき、隣駅の橋本駅のリニア開通、小田急多摩線の延伸等でアクセスの良さも手伝うと思う。</p>	ウ
6 2	<p>にぎわいやシビックプライドのため、複合スタジアムが必要と考える。現時点でも何千人も集客しているホームタウンチームの潜在力をさらに引き出すことができる。</p> <p>既にギオンスタジアムは利用がひっ迫しており、リーグワン2022のダイナボアーズの順位決定戦のような大切な試合も秩父宮ラグビー場開催となって人の流れを奪われた。相模原駅北口だけでなく市のにぎわいを作るために必要である。</p>	ウ

6 3	<p>町の中心部にスタジアムができる と活性化に寄与する。市にホームを 置く4つのチームのリーグ戦や、日 本代表戦を行ったり、災害時に避難 所として利用したり、価値は非常に 大きい。スタジアム周辺にショップ やホテル等を配置すれば更なる効果 が見込める。市内外から人が集まる スタジアムは市の発展に貢献するこ とでしょう。</p>		ウ
6 4	<p>本市はこのままでは都市間競争で 埋没してしまう。地域活性化の唯一無 二の複合スタジアムを建設すべき。</p> <p>大規模コンサートやイベントもで きるよう芝生部分が昇降し、屋根と なる事例を提案したい。駅前立地で アクセスが良く、魅力的なコンテン ツがあれば実現すると思う。</p> <p>本市周辺には屋内大規模イベント 施設や球技専用スタジアムがなく、 市内にはサッカーJ1、J2を開催 できるスタジアムや、非常時に避難 所としても利用できる屋内大規模施 設もない。中央区には体育館もない。</p> <p>ホームタウンチームが4チームあ るが、ギオンスタジアムでホームゲ ームを開催できなかったり、本来の 陸上競技場としての利用に限界もあ る。それらを全て解決できる施設が 必要で、市民の誇りとなるような施 設であればメリットとなる。</p> <p>また、隣接地に商業施設を誘致出来 れば、さらなる地域活性化にもなる。</p>		ウ
6 5	<p>J1規格の多機能複合型スタジア ムが建設可能なまちづくり計画とし てほしい。立地的には申し分なく、 ある程度の試合数、集客も見込める。</p> <p>相模原でJ1やACL、日本代表 クラスの試合を見てみたい。</p>		ウ

6 6	<p>4つのホームタウンチームがあり各試合で観戦に大勢の人が訪れる。</p> <p>現在、2000人規模と思うが、駅前の複合型スタジアムでは毎週1万人規模の賑わいを創出することができる。スタジアムの近くに飲食店や雑貨店、大型商業施設などを誘致し、そこでの雇用も見込める。</p>		ウ
6 7 ～ 7 0	<p>相模原のみならず近隣地域のスポーツやイベント開催による地域経済振興や、相模原PRには、新スタジアム実現は必須と考える。</p> <p>新スタジアムの実現を希望する。</p>		ウ
7 1	<p>集客イベントには交通利便性が必須であるが、現在は利便性が高いとは言えない淵野辺公園、麻溝公園、市役所周辺などで行われており、投資に対して効果は不十分ではないか。</p> <p>このためスタジアム、アリーナ型体育館等集客施設については本地域に集約配置すべきと考える。特に、スタジアムは他の施設とは異なり4つもの興行団体が必然的に使用し、イベントを改めて誘致する必要がなく、優先的に整備するべきである。</p> <p>アイスアリーナについても、スポーツツーリズムの目的となっており、これも含めてはどうか。</p>	<p>集客イベントにつきましては、その目的や経過、効果等を踏まえて実施することが重要と考えており、ご意見を参考とさせていただきます。</p> <p>また、交流にぎわい機能においてスタジアムをはじめ、ホール、会議室、アリーナ等を導入施設例としております。今後、まちづくりコンセプトや他の導入機能との相互関係等を勘案しながら、土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ

7 2	<p>硬式野球専用球場の新設を提案する。野球クラブの活動で相模原球場等を利用するが、活動場所を確保できないこともある。</p> <p>市内には、高校野球部や少年野球チーム等硬式野球の団体も多いため利用や整備、管理を分担して行うことも検討できる。</p> <p>また、県内の独立リーグの開催や、低年齢層の野球人口減少に歯止めをかける野球教室の実施、新たな大会の開催による観光PRや地域経済への貢献もできると考える。</p>	<p>交流にぎわい機能においてスタジアムをはじめ、ホール、会議室、アリーナ等を導入施設例としております。今後、まちづくりコンセプトや他の導入機能との相互関係等を勘案しながら、土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ
7 3	<p>宇宙関連事業、複合スタジアム関連事業等はどちらかといえば賛成であるものの、進め方がイメージしにくい。</p> <p>税収を確保し、市が赤字にならないようにしてほしい。楽観的なまちづくりであれば広場でよい。</p>	<p>人口減少・高齢化の進展や、住民ニーズが多様化する中、持続可能なまちづくりに向け、税収の確保はますます重要になると認識しております。本地区のまちづくりにあたりましても、本市の発展の起爆剤となるよう取り組んでまいります。</p>	ウ
7 4	<p>文化都市を目指しているはずなのに市立美術館がない。今回必ず組み入れられると思っていたが、特別な理由があるのだろうか。</p> <p>美術館には展示以外にも大切な役割があり、市にゆかりのある画家等の作品を収集・保管管理し、文化遺産として次の世代に遺すことこそ市の責務ではないか。</p>	<p>まちづくりコンセプトや他の導入機能との相互関係等を勘案しながら、本地区の交流にぎわい機能としてふさわしい施設の検討において参考といたします。</p>	ウ
7 5	<p>美術館や博物館を設置し、芸術など本物に触れる機会を増やし、国際的な専門教育機関と連携し、生み出す場、創造する場としての価値を高めていくことが必要。</p>		ウ

76	<p>現代美術やメディアアート等の美術館が身近にあったらいい。主要都市の大きな美術館等に行かないと美術の発展を感じられないことが多い。</p> <p>大人も子どもも気軽に意見交換ができるような場所等があれば、クリエイティブな発想の育成につながる。</p> <p>また、アーティストが長期滞在して制作する企画や、施設があってもよい。横浜や川崎には見応えのある美術館があるので本市にも作って欲しい。</p>		ウ
77	<p>市内で優れた芸術に触れる機会が乏しいため、市収蔵作品の活用、市にゆかりのある作家の滞在型創作活動、全国規模の巡回展の受入れの場として、気軽に立ち寄れる美術館が駅前にできれば、地元根差しながら世界を広げる学びの場として、豊かな市民生活の実現、子どもたちの成長、周辺地域からの集客にも期すること大きいと考える。</p>		ウ
78	<p>大きいスタジアムではなく、多くの市民が様々なスポーツで交流できる小規模な運動場。</p> <p>一部の企業によるスタジアム整備の署名活動があったが、市民の健康・生活のためではないと感じる。</p>	<p>交流にぎわい機能においてスタジアムをはじめ、ホール、会議室、アリーナ等を導入施設例としております。今後、まちづくりコンセプトや他の導入機能との相互関係等を勘案しながら、土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	ウ
79	<p>チームサポーターからスタジアム建設の要望があるようだが、近隣住民としては、数万人が一度に集まるようなことは避けてほしい。騒音や渋滞等新たな課題が生じる。</p>		
80	<p>SNSやネット上で「北口にスタジアム実現を。」という内容を見かけるが不要ではないか。試合で近隣が渋滞し、電車の遅延によって住民の生活に支障をきたす可能性がある。</p> <p>一部の観戦者やサポーターのマナー違反で治安や騒音、ごみ問題も懸念される。</p>		ウ

⑨ 「3-2 導入機能」のうち交流ハブ機能について			
8 1	<p>芝生広場等会場でホームタウンチームのアウトウェー試合のパブリックビューイング施設を設けてはどうか。ホームゲームはギオンスタジアムへのシャトルバスを運行等し、回遊を生み出す。</p> <p>駅前にあれだけの広い空があることはとても貴重で、高い建物が目に入らないスポットを作ることで、天然のプラネタリウム、ロケット教室、気球体験、相模の大風などでにぎわいが生まれると考える。</p> <p>政令指定都市として市立の大学、高校、病院、美術館等を整備し、最新の設備を備えた教育施設ができることでイノベティブなまちとするほか、市の歴史や文化を学べる施設、特に基地の返還地（その前は日本軍の土地であったこと）を踏まえ、「軍都相模原」の歴史を知ることができる施設が欲しい。</p>	<p>交流ハブ機能のイメージとしては、様々な人の滞在や交流、まちの核として各機能を結び付ける場で、オープンスペースを施設例として挙げております。今後、機能や規模、空間デザイン、運営方法等具体化に向けた検討を進めてまいります。</p>	イ
8 2	<p>駅前は大きくフラットな広場とし、毎週フリーマーケットが開催できるようにする。誰もが参加、会話できる場とし、一部は困窮者向け食糧配布場所や情報交換スポットとする。一人にならない広場としたい。（約0.5ha）</p>		イ
8 3	<p>ニーズの高い「オープンスペース」について、町の顔となり多くの人にとって居心地のよい場所となるように、市が主体的に空間デザインを調整、誘導してほしい。</p>		イ
8 4	<p>ファミリー層を呼び込むためJAXA監修のワークショップを行う。</p> <p>また、共同使用区域でキャンピングカーの試乗やキャンプグッズの貸出、販売のほか、地元の野菜・花等を販売する。</p>		イ

⑩ 「4 都市基盤等」について			
85	市を特徴づける桜で並木ができることを強く望む。桜の木はオーナー制度としてはどうか。桜が難しいなら花苗、タイルで出資できる機会があってもよい。	並木やみどり、まちなみ等景観形成につきましても、広域交流拠点整備計画（平成28年8月策定）の内容を基本とすることとしており、今後の土地利用計画の検討において参考といたします。	ウ
86	<p>広大な土地をそのまま活かし、樹木や芝生を多くし、建物は低層、小規模にする。</p> <p>時代の変化に対応するため、融通が利かない大きな建物は作らず、時代が変わっても誰もが求める緑を増やす。</p> <p>駅前だからといって容積を大きくせず、中身の濃いスモールタウンを目指したい。</p>		ウ
⑪ 「5 脱炭素社会に向けた取組」について			
87	<p>脱炭素化に向けたまちづくり・誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに賛同する。</p> <p>脱炭素化にはエネルギーの地産地消、地域創生のまちづくりが必要。需要地で電気や熱を作り、地域一体でマネジメントし、ガスコージェネレーションシステム・再生可能エネルギーなどの分散型エネルギーが有効。災害対応力や地域経済等の地域課題の解決に寄与する。</p> <p>また、激甚化、頻発化する自然災害へのレジリエンス性が求められるが、ライフラインは安全性や多重化、災害発生時における早期の復旧が重要となり、都市ガスは強靱性が高い。また、自然災害による停電被害も広域化しており、需要側の対策としてエネルギーの多様化・多重化・分散型システム等を組み合わせることが重要である。</p>	<p>本地区のまちづくりは、さがみはら気候非常事態宣言（令和2年5月）やさがみはら脱炭素ロードマップ（令和3年8月策定）を踏まえ、本市の脱炭素型のまちづくりの取組を先導的に推進してまいります。</p> <p>今後、再生可能エネルギーの活用や効率な使用方法等具体化に向け、土地利用計画の検討において参考といたします。</p>	イ

88	脱炭素エネルギー研究のためのスマートシティとして、太陽光やバイオマス発電等を開発する企業を誘致してはどうか。	本地区において脱炭素の取組を先導的に行うとともに、広く発信していくことで人や企業から関心を持たれるよう取組を進めてまいります。	イ
89	脱炭素のために駅前森林を作り、市民が自由に過ごせるようにする。森林は土壌を浄化し、将来においても歓迎される場となる。また、果樹園を配置し、そこで取れるものは市民が無料で食べられる。SDGsの象徴の場としたい。(約8ha)	脱炭素やSDGsをはじめ、持続可能なまちづくりを進めるにあたり、ご意見を参考にしていまいります。	ウ
90	市が率先して行うSDGsの取組として、相模原駅周辺を自転車とバイクシェアの専用地区としてはどうか。駅北口地区の地下をパーク&ライド、レール&バイクシェア、EVのカーシェアの拠点とし、地上は公園にする。自転車、カーシェア専用地区は、南は淵野辺の鹿沼公園、西は横山の横山公園、北は南橋本の小山公園とし、市役所や合同庁舎、警察署、税務署や市民会館等公的な機関や建物、区域内の住む家庭、企業にも協力を呼びかける。一大プロジェクトであるが、環境都市のアピールになる。		ウ
⑫ 「6 今後の留意点」について			
91	小田急多摩線の延伸の早期実現により、多摩ニュータウンや町田市の住民にとっても訪れやすくなる。 2021年12月に多摩都市モノレール町田方面延伸が遠回りのルートとされたため、多摩ニュータウンや、町田市忠生北部の住民は、延伸した小田急多摩線を利用した方が町田駅に早くアクセスできる。 交通結節点の視点を盛り込んだまちづくりに期待している。	小田急多摩線の延伸につきましては、本地区のまちづくりの効果を最大化するものと認識しております。このため、本地区のまちづくりを着実に進め、引き続き、関係自治体における延伸に係る事業の優先度が高まるよう、取組を進めてまいります。	ウ

9 2	<p>近隣の幼稚園、保育園、学校の子どもたちが課外授業としてまちづくりに参加・体験することにより、生まれ育った街に愛着を持ち、大人になって更に良くしていきたいと考えることができる。今のままでは愛着心が少なく都内へ出たいと考える人が多い。コロナ禍でより子どもが我慢してきたので、明るい未来について考え、実際に経験してほしい。専門的な方とのやり取りや、地域の多世代交流で相互効果を得られると考える。</p>	<p>本地区は“つながり”をキーワードにまちづくりを進めていくこととしております。</p> <p>人と人、周辺地区や未来への“つながり”等を創出するため、子どもをはじめ様々な人が主体的にまちづくりに参画できる仕組みづくりについて検討してまいります。</p>	ウ
9 3	<p>リニア中央新幹線工事の沿線各地での市民の反対、訴訟運動、調布での外環道陥没事故、シールドマシンの故障問題、大井川の水問題、南アルプスの中央構造線等多数の活断層を貫く難工事、また、コロナ禍、地方分権型社会への転換にあって、リニア事業の税投入は3兆円に膨張し、JR東海の累積赤字とともにすでに破綻している。</p> <p>また、小田急多摩延伸工事は実現性に欠けていることも踏まえて、計画は絵空事、皮算用であり、多額な税金を使って市民をドロ船に乗せることは、地方自治法に違反した行為であるため、計画は中止し、行政・市民・市議会協働のまちづくりの原点に立ち返ってほしい。</p>	<p>本地区は、新市街地を形成していくことで相模原駅周辺地区全体の発展の起爆剤としての役割が期待されており、市民や民間企業の意見を幅広く伺いながら、まちづくりを進めてまいります。</p>	ウ
⑬ 「参考資料（市民アンケート）」について			
9 4	<p>居住地別（地元、市内、市外）とあるが、この場合の市内と地元とは具体的にどの範囲を示すのか不明瞭であり、明示を求めたい。</p>	<p>市民アンケートにおける地元の範囲につきましては、相模原市広域交流拠点整備計画（平成28年8月）において相模原駅周辺地区として対象とした小山地区、清新地区及び中央地区です。なお、それ以外の市域を市内としております。</p>	エ

⑭ 其他のご意見について			
9 5	土地利用方針（案）には、魅力的な内容が多いが、実現化に向けたスピード感とスケジュール感を知りたい。	土地利用方針の策定後、速やかに土地利用計画の検討に移行します。今後のスケジュールにつきましては、更に、精査しながら進めていくことから、現時点で最終的な見通しをお示しすることは難しい状況です。	エ
9 6	建設工事等を開始するにも大型工事車両の通行が必要となり、例えば米軍側線路側を50mセットバックし工事車両通行を一時的に可能とするなど、駅周辺の安全性向上を事前に検討することが重要である。	今後、まちづくりの検討が進行し、施工時期を見据えた中で、安全面への配慮等について調整を図ってまいります。	エ
9 7	相模総合補給廠返還地には数十年手をつけないでいただきたい。これまでも、鉛の検出、原因不明の爆発火災事故の発生や、焼夷弾の処理が行われるなど、市民が安心して足を踏み入れられる土地であると思えない。開発云々以前に、これらの件についての安全確認の方法を示していただきたい。	当地区や共同使用区域における土壌汚染については、所有者である国から情報提供されておりますが、安全・安心に関して課題がある場合は、土地所有者である国と協議しながら解決を図ってまいります。 なお、今後のまちづくりについては、土地利用方針の策定後、速やかに土地利用計画の検討に移行し、取組を進めてまいります。	エ
9 8	パブリックコメントが年度末・新年度の時期に集中する傾向があるようだが、決算期などの繁忙期に当たる場合も多く、実施時期の分散等に配慮していただきたい。	パブリックコメント実施時期につきまして、ご意見を踏まえ、今後の参考とさせていただきます。	エ

<p>99</p>	<p>パブリックコメントの募集について、気軽に市民が意見を送付できるようLINE、SNS、GOOGLEフォーム、QRコード等ITの仕組みを整備してほしい。</p> <p>一部の企業がキャンペーン的に意見を送付させ、それが市民全員の声だと受け取られることを懸念する。</p>	<p>パブリックコメントは、氏名、住所等の個人情報を明らかにする必要があり、匿名性の高いSNS等での投稿はパブリックコメントの趣旨に馴染まないことから、書面や電子メール等での意見募集を行っているものです。</p> <p>意見募集に当たっては、チラシにQRコードを掲載しており、今後もICTの活用による行政サービスの向上に向けた取組を検討してまいります。</p> <p>また、政策等の形成に当たっては、パブリックコメントに限らず様々な手法により市民意見の聴取を行っており、頂いた意見については、その内容を総合的に勘案し反映しております。</p>	<p>エ</p>
-----------	--	---	----------